日高市立図書館　ヤンちゃん通信　NO.42　2026.11

11・12月号のテーマは

毒の本

『自分の中に毒を持て』
岡本太郎 著/青春出版社/B159 オカ

自分の心に正直に、納得できないことには先生にも頭を下げず反抗した。自由な両親から対等な存在として育てられた著者は、頭ごなしに権威を押し付けてくる先生や学校がイヤで小学校を三回転校し四つの小学校へ通ったそうです。

人マネするな、出る杭は打たれろ、ダメな方を選べ、情熱の持てる道を行け等、YA 世代の心に刺さる本!!

『シン・防犯対策図鑑』秋山博康 著/KADOKAWA/368 アキ

防犯対策と聞くと少し硬いですが、あなたの身近にも犯罪は潜んでいます。そのためにもどのような犯罪があるのか知っておきましょう。元刑事の著者が分かりやすく、イラスト付きで犯罪のケースを解説してくれます。あなた自身や身の回りの人を守るためにも読んでいただきたい一冊です。

『世界一やさしい依存症入門』　松本俊彦 著/河出書房新社/41

やめたいのにやめられない事はありますか？スマホ･ゲームなどに度を越えてハマることを依存症といいます。

どうして人はハマるのか。当事者や周りの人はどうするべきか。〇〇中毒にならないために一度は読んでおきたい一冊。



『ローズと魔法の薬』岡田晴恵著/学研教育出版/オカ

インフルエンザが流行する時期になると、予防し感染しないよう注意しながら生活することと思います。

豚の中で眠りから覚めたインフルエンザの魔女が病気の種を撒き、弱毒性新型インフルエンザと薬との闘いが繰り広げられる物語です。負けん気の強い薬の魔女ローズは一生懸命に薬を作ります。

ローズから病気と闘う勇気をもらい抗生物質の薬は多くの人を救ってくれることを知るおすすめの本です。

『禁断の毒草事典』ラスティカ・エディションズ編/グラフィック社/471 キン

美しくも暗～い一面のある身の回りの植物たち。これらの植物の中には毒を持ち、興奮や幻覚をひきおこす、とっても危険なものがあります。

意外に知られていない有毒植物の生態を探り、その毒から身を守る方法を学びつつ、豊かで妖しい毒の世界をのぞいてみませんか？

無害な世界に、飽きた君へ…